

# 食品商業

5  
2026  
May

令和8年4月8日発行(毎月1回8日発行) 第55巻第5号通巻719号

## このまま使える販促企画書

6月

食欲不振対策  
父の日のディナー  
冷んやりメニュー

野菜・果実・鮮魚・精肉・グロサリー・日配・惣菜

スーパーマーケット

## 新店・改装・ 新業態で読む SM進化の最前線

オトナリマート伊勢崎下道寺店／フードスタイル三田店／サミットストア西小山店  
東武ストア朝霞店／小型化と既存店活用に進む首都圏スーパー

## 「メリハリ消費」の壁を突破する春の新商品プロモーション 第60回スーパーマーケット・トレードショー2026レポート 売場とバックヤードの「棚割り」のつくり方

**レポート** 新フォーマットモデル「Beisia Town新狭山店」  
ローソン夏商戦の猛暑対応は「前倒し×拡張」へ  
セブンイレブン2026年度の商品政策

好評連載

リサーチ>>惣菜 他社の商品から学ぶ／52週コトPOP

このまま使える! 今月の食育レシピ／スーパーマーケット入門

パートさんのトリセツ

接客トレーニングステップアップ講座

ニッポン農泊紀行



進化の最前線

販促企画書

6

RE

# 新入社員と指導者の必須講座 売場とバックヤードの棚割りのつくり方

エムオープランニング

中田建彦

売場づくりにおいて「棚割り」は基本中の基本である。しかし現場では、その重要性が理解されていても、日々の業務に追われる中で維持が難しいという声は少なくない。本稿では「あるべき棚割りを維持する仕組み」に焦点を当てる。併せて、補充作業における安全確保や身体への負担を軽減する基本動作にも目を向ける。新入社員には正しい作業の習得を、指導する側には教え方の再確認を促しながら、売場とバックヤードの両面から、現場に根づく棚割り管理のあり方を考えていく。

本稿は「棚割り」を、お客様視点だけでなく、主に従業員の作業視点で捉え直す試みです。従来の視点を変えてみることで、同じ時間の中で、従業員がより効率的に働くヒントを見つめることができると思います。

※本稿の対象は、グロスリ・日用雑貨等の非冷商品、賞味期限・販売期限が長い商品です。

## 静的視点と動的視点

物事を観察する視点には、時間軸の置き方・捉え方の違いで「静的」と「動的」に分ける方法があります。「静的に捉える」とは、ある一時点の断面や固定された状態を構造的に理解することです。「動的に捉える」とは、時間の推移や、つながりを含めて理解することです。

本稿テーマの棚割りで言えば、**図表①**の「B：バックヤードの棚割り」と「C：売場の棚割り」を切り取ること

が静的。一方、①入荷↓②バックヤード集品↓③補充↓④バックヤード在庫保管↓⑤ごみ回収といった、作業の流れで捉えることが動的視点です。本稿では静的な捉え方で説明を進めます。

## 固定ロケーションとフリーロケーション

棚割りは、商品管理を適切に行うためのプラットフォーム（基盤・環境・仕組み）であり、売場とバックヤードに必要とされています。

### ① 売場の棚割り、およびレイアウトは固定ロケーション

売場の棚割りおよびレイアウトは、本部（企画）による立地とマーケット分析、商品部によるA・B・Z分析（商品の需要安定性・売上重要性を評価した在庫手法）や弾性値（どの段のどの列に何フェース置くかを決める指標）と、取引先との商談で出来上がります。なかなか売場主任の独断で変えられる

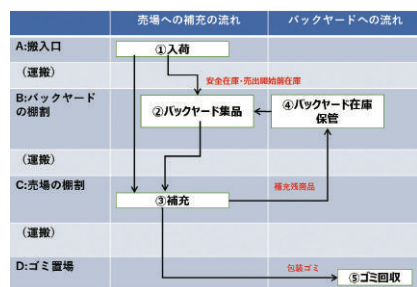
ものではありません。（中には主任の立案で本部と調整をして棚割りをつくることが出来る企業もあります）。その意味で売場の棚割りは「固定ロケーション」です。

固定ロケーションでの棚割りは、同じ商品は同じ場所（戸籍）に保管します。固定ロケーションでは、陳列場所がいつも同じなので、お客様にとっては商品が見つけやすく、短時間で比較選択でき、買物しやすい場になります。また、従業員にとっては管理しやすい場になることが長所です。

半面、固定ロケーションでは、よく売れる商品に品切れが発生し、棚が空いてしまうことがあります。しかし、品切れで棚が空くことは短所ではありません。固定ロケーションにおいて、空いた棚は補充や発注の勧告であり、売数予測の仮説検証などにつながる仕掛けになるので、これも長所です。

### ② バックヤードの棚割り、および

図表① 棚割りの業務フロー



レイアウトはフリーロケーションバックヤードでは仕物のレイアウトや在庫の置き場所を主任が独断で決めることができます。この商品の置き場所を固定せずに変える方法を「フリーロケーション」と言います。フリーロケーションの長所は、空いている棚を詰めて、スペースを効率よく使えることで、垂直に積み上げれば、小さな床面積も有効に使うことができます。

また、売場の棚割りはシステムに登録されていて、商品と棚の戸籍はしっかりとひと付け管理されていますが、バックヤードの棚割りはシステムに登録されていません。従って、主任は自

図表② 棚札のイメージ

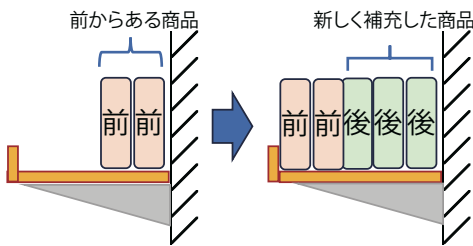


図表③ 棚札にJANコード(数字)が必要な理由

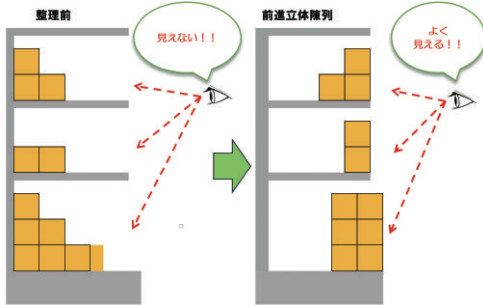
一見、よく似たパッケージの商品。品名だけだと陳列場所を間違ってしまう。



図表④ 先入れ先出し(棚を横から見た図)



図表⑤ 前進立体陳列



図表⑥ 棚割を上から見た図



売場の棚割りは、お客様に対して、

**売場の棚割り管理**

時にタイムリーな対応ができます。

第3に補充・発注精度の向上です。スピーディに在庫が確認でき、補充・発注ができます。第4に商品ロスの削減です。異常がすぐに見えるため、発生時にタイムリーな対応ができます。

**③ 従業員から見た「棚割り管理」の4大効果**

従業員から見て、棚割り管理には次の4大効果が見込めます。

第1に作業安全の確保です。安全は全てに優先します。第2に作業効率の向上です。商品の住所が決まっているため、誰でも正しく作業ができます。第3に補充・発注精度の向上です。スピーディに在庫が確認でき、補充・発注ができます。第4に商品ロスの削減です。異常がすぐに見えるため、発生時にタイムリーな対応ができます。

「棚札(戸籍ラベル)」を取り付けます(図表②)。これにより、お客様は

棚割りに、どの場所(棚と、その段列)に、どの商品を置くかを決める

**要件①「その商品の陳列場所が決める(棚と段列)」**

「要件①」その商品の陳列場所が決める(棚と段列)に、どの商品を置くかを決める

「要件②」その商品の売価が

「要件③」その商品の売価が

「要件④」その商品の売価が

「要件⑤」その商品の売価が

「要件⑥」その商品の売価が

「要件⑦」その商品の売価が

「要件⑧」その商品の売価が

「要件⑨」その商品の売価が

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

「JANコード(数字)」を取り付けます

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

次に陳列の注意点について記します。

### ① 陳列数で在庫の適正化をコントロール

商品は売数に合わせて陳列することがポイントです。売れ筋商品は品切れを防止するため棚割りの奥行き限界まで商品を陳列したり、できればフェースを拡大したりします。フェースとは商品の顔に当たる正面・パッケージ面のことです。

陳列数を増やすことは品切れ防止、補充作業改善（バックヤードに「取りに行く」「運ぶ」「探す」の作業を減らす）につながります。また、通常の売れ行き商品はフェース数、陳列数を絞ります。

### ② 先入れ先出し

入荷日の古い商品から順番に販売できるように、先に入ってきた商品から先に売場に陳列します。これを「先入れ先出し」といい、自然に売場の品質・鮮度が維持されます。また、先入れ先出しは従業員の作業（賞味期限チェックや清掃）を楽にします（図表④）。

### ③ 前進立体陳列

棚の前面から商品が売れてなくなつた場合、後ろに残つた商品を前面に立体的に陳列し直します。これを「前進立体陳列」と呼びます（図表⑤）。お客様から見て、迫力感と視認性を高めます。また従業員から見ると、少ない在庫量でも売場の豊富感が演出できます。

### ④ 棚と在庫管理の基本

前述しましたが、品切れが発生して

も、他の商品で棚を埋めてはいけません。また、棚に入りきらない商品を隣の商品の棚の後方に押し込んではいけません（図表⑥）。オーバーフローした在庫はムリに陳列せず、面倒がらずにバックヤードに引き揚げましょう。これは在庫管理の基本ルールです。悪い状態も容易に見ることができるので改善の手を打つきっかけになります。

### バックヤードの棚割り管理

一般に「バックヤード」とは、在庫置き場、荷受け場、事務室、休憩室・更衣室・トイレなどの共有スペースと、それらをつなぐ通路から構成されます。本稿では「在庫け置場（ストックヤード）」のことをバックヤードと呼びます。在庫置場には棚割りがありません。バックヤードの棚割りは、全て従業員向けの設備・情報です。要件は次の①と②です。

**要件①**「在庫保管用什器」には、「中分類札」を取り付けます。

レイアウトは商品分類コード別に置き場所を区分けします（図表⑦）。在庫保管に使う棚台車やスチールラックには中分類札を取り付け、積載している商品のカテゴリーが分かるようにします（図表⑧）。違う分類コードの商品を同じ棚に置

図表⑦ 中分類札



図表⑧ 商品保管什器



図表⑨ 商品分類の中分類とは

大分類	中分類	小分類	細分類	単品	
グロサリー	調味料	醤油	薄口	商品名 (jan)	
			濃い口		
		みりん	つゆ		
			砂糖		
			塩		
			etc		
菓子					

図表⑩ 「在庫内容ラベル」のイメージ



く場合は仕切り板などを置き、混在を防止します。中分類札の情報は、a「部門コード（中分類）」、b「部門名称」です（図表⑨）。

**要件②** 在庫の置き場所には「在庫内容ラベル」を取り付けます。オリコンや段ボール箱に収めて商品を隠してはいけません。「在庫内容ラベル」を取り付け、正常品と異常品が誰でも、ひと目で分かるように保管します（図表⑩）。

「在庫内容ラベル」の基本は「定番」（補充残・安全在庫等）、「特売」（特売期間の待ち商品）、「返品」（返品作業待ち）、「廃棄」（廃棄作業待ち）に分類します。これが棚割りに当たりります。例えば、「カットケース陳列」（段ボール箱の上部をカッターなどで切り取り、そのまま棚に並べる）で在庫したり、棚から商品が転げ落ちないようにパット（角形の浅めの容器等）を活

用)の中に商品を置いたりします(図表⑪)。

### バックヤード在庫を「見える化」する理由

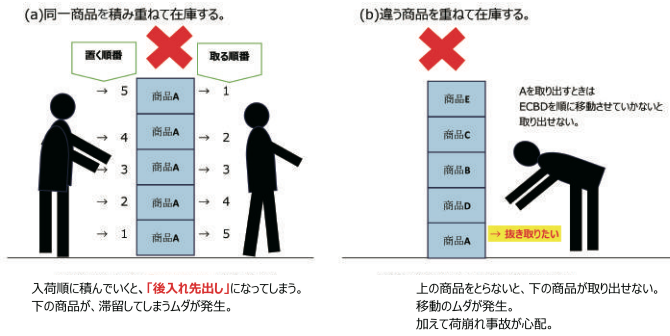
POS システムの在庫データには在庫場所(どこに在庫があるのか)の情報はありません。

すなわち、売場で3個、バックヤードで5個の在庫があってもPOS上では合計8個で照会されます(POS 在庫は店内にある総在庫です)。

従って、売場で品切れが発生したとき、バックヤードに該当の商品があるかないかはバックヤードに足を運び、見に行かなければ分かりません。

例えばお客様から「この商品は売場に3個しかないけど、あと10個欲しい」とお申し出があった場合、POS データを見ると15個あるから、バックヤードには12個あると推定できます。

図表⑫ バックヤード在庫の保管 (悪い例)



図表⑪ 在庫が見えるように裸で保管する



そこで、バックヤードに探しに行きませんが、整理整頓ができていなければ商品を探し出すのに時間がかかり、お客様をお待たせしてしまいます。このようなことがないように、バックヤードは「中分類札」や「在庫内容ラベル」を使い、いつでもスムーズに商品を探せるようにします。

(工場や物流センターでは置き場所ごとの在庫数をリアルタイムで見えるシステムがあります。これは商品移動するたびにHHTに場所変更の入力を行っているため、店舗での導入は過重な作業負担となるため非現実的です) バックヤード在庫についても先入れ先出しをすることで、賞味期限チェック作業や清掃作業が楽になります。バックヤードの品質が自然と維持できるようになります(図表⑫⑬)。

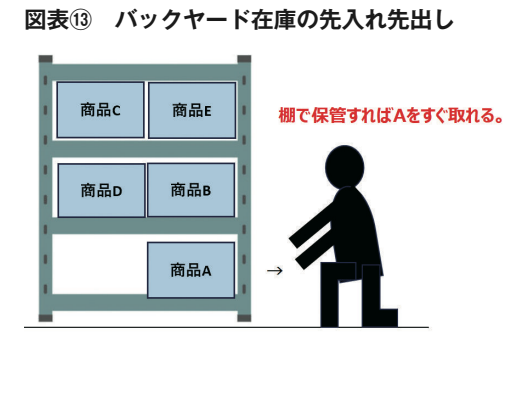
**現場改善と労働災害防止の基本**  
改善とは、作業を「安全に」「正しく」「早く」「より楽に」するための技術工夫です。以下に過去の経験から生まれた知恵について説明します。

**① 人の視界**  
売場の棚割りに、お客様が商品を買いたやすい視界(ゴールデンゾーン)があります。同じように従業員にも作業しやすい視界があります。  
人は有効視野として、上下角度約60度、左右70度がよく見えるといわれています(図表⑭)。至近距離よりも遠距離に立った方が視界は広がります。

**② 人の身長と陳列の高さ**  
什器メーカーは棚什器の最下段の棚の高さを考えた製品を何種類か販売しています。これはお客様の視界から最下段の商品が外れないようにするだけ

の目的です。  
また、最下段が高くなっているのは、最下段の商品を見やすくするためです。高くすれば見やすくなりますが、その分、全体の陳列範囲が少なくなる関係になります。視界から外れた棚の上段や下段の商品整理や清掃は特に意識して行いましょう。

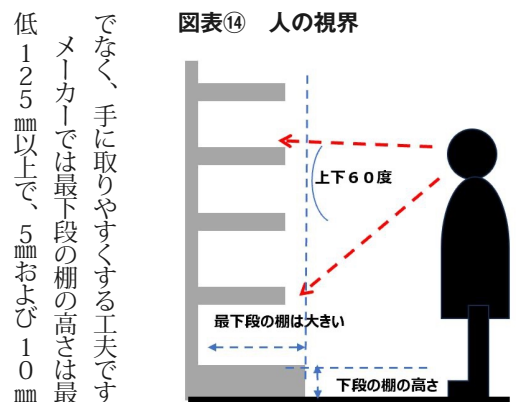
棚什器の最下段の奥行きが他の段より10cmほど大きく前に突き出しているのは、什器の重心を低くし転倒防止をすることに加えて視認性を良くするのが目的です。



**③ 腰から床までの高さで作業**  
膝を突いて作業しましょう。腰を曲げての作業は腰痛の原因になります(図表⑯)。  
膝を突いて作業する場合は、作業用ニーパットを装着するか、サウナ座布団、または段ボールの切れ端を膝の下に敷くと楽にひざまずいて作業ができます(図表⑰)。

**④ 頭から上の作業**  
「踏み台」や「脚立」を使って作業しましょう。これらの使用は労災事故が多いので、使い方についての知識が必要で

でなく、手に取りやすくする工夫です。メーカーでは最下段の棚の高さは最低125mm以上で、5mmおよび10mm刻みで高くなった製品をラインナップしています(最下段の高さは125~600mmくらいまで製品があります)。  
従業員の作業ベースから見ても、身長により作業しやすい高さがあります。頭から上と、腰から下の作業は「しづらゾーン」です(図表⑮)。

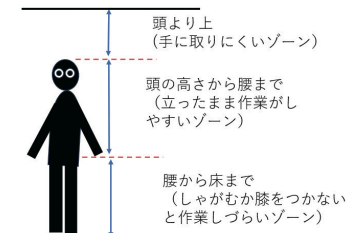


図表16 腰から床までの高さの作業

腰は曲げない、捻じらない。腰から下のゾーンの仕事は膝をついておこなう。



図表15 作業しやすいゾーン



図表17 膝を保護する工夫



段ボールの切れ端 無料

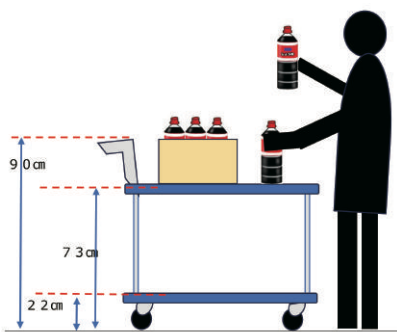


サウナ用座布団 引用:「楽天市場」 375mm×275mm 500円ぐらい〜



作業用ニーパット 引用:「モノタロウHP」 1000円ぐらい〜

図表19 2段棚台車での作業

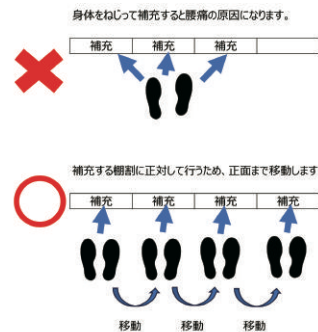


以上、棚割りについて説明しました。棚割りの「出来栄え」が店舗全体の品質を支えます。  
レジ業務も発注も清掃も接客すら自動化が推進され

おわりに

手が使えないようにしてしまう。

図表18 作業時の体の向き



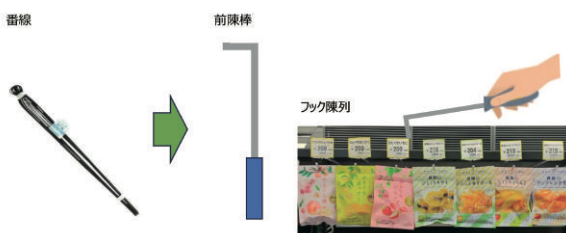
筆記用具やカッターナイフ、カウンタークロス(吸水性が高く速乾性のある使い捨てふきん)、前陳棒などの用具はウエストポーチに入れて携帯し、作業で両手が使えないようにしてしまう。

一つ目には、天板に乗るときは、体が天板の中心にくる位置に立ちます。天板の端に乗ると重心が崩れ転倒する危険があります。  
二つ目には台から体を乗り出してはいけません。バランスを崩し転落する恐れがあります。  
三つ目には台は棚割りの正面に設置し、作業時は体をねじりません(図表18)。転落や腰痛の原因になります。  
四つ目にはつま先立ちで乗ってはいけません。バランスを崩し転落する危険があります。  
⑤ 台車を作業台にする  
2段棚台車は運搬だけでなく作業

台としても使えます(図表19)。上段の高さは約73cmあります。JIS規格によると作業用の台の標準高は70〜80cmが安定感のある高さとしてされています。2段棚台車の上段を使うと、ちょうど腰をかかめることなく開梱、仮置き、POPなどの仕分け、見切り作業ができます(台車メーカーも作業台使用を推奨)。  
下段は重心が低いので米や飲料など重量物の運搬に適しています。重量物は腰を曲げずに、まっすぐ上体を起こして持ち上げます(図表20)。  
⑥ フック陳列での前進立体陳列作業  
フック陳列の先入れ先出しを行お

うとして商品を落としてしまった経験はありませんか? ここでは「前陳棒」と呼ばれる先、ががぎ型になっている針金の道具を紹介いたします(図表20)。これを使うとストレスなく前進立体作業ができます。  
前陳棒は簡単に自作できます。建築資材で「番線」という足場を組むときに使う針金があり、「#8(4.0mm)」を使い工作します。長さは約70cm、10本セットが約700円で、ホームセンターで売っています。  
番線1本で前陳棒を2本作ることが出来ます。番線を半分に切って、持ち手を付けると完成です。ぜひ作業してみてください。

図表21 前陳棒の作り方と活用



中田建彦(なかた たけひこ) エムオープランニングシニアコンサルタント。1981年、大手チェーンストア入社。店舗の営業現場を経験し、本社のシステム推進本部にてPOS導入、新店オープン時のシステム導入を担当し、店舗の営業・後方に係る業務改善、その運用指導に従事。売上金集配の事務センターで、生産管理業務、新センター設立、金融機関の現金出納事務所長等を経験。エムオープランニング入社後、流通系メーカー企業の業務支援、研修を実施。https://dx-moplan.com/

図表20 重量物の持ち上げ方



ている昨今ですが、人が商品を補充し整理整頓する仕事は残ります。  
だからこそ、この基本作業を丁寧に積み重ねることが、これからの現場を支える力になります。一つ一つの棚づくりが売場の印象を変え、やがて店舗の価値を高めていくのです。

